

有田市コミュニティ・スクールだより

回覧

有田市教育委員会

R7.9.1

地域とつながる学校行事

宮原小学校では、毎年地域の人や保護者を招いて「水害慰霊祭」を執り行っています。その意義を校長先生のお話から一部ご紹介します。

「時間が経てば災害の記憶は薄れていきます。だからこそ、この水害慰霊祭を『続ける』ことが、宮原の町の防災に少しでもつながっていければと思っています。」

実際に水害を体験された方からお話を聞きました。



献花(児童・教師)



献花(地域の人・保護者)

地域の人と楽しむ野外活動

市内4年生(希望者)と各地域の青少年育成に携わる指導者が、大阪府立青少年海洋センターでカヌーやいかだ体験を思いっきり楽しみました。子どもたちは、他の学校の友達もでき、指導者(地域の人)とも仲よくなってコミュニケーションがはずんでいました。「来てよかった!」と笑顔で言いに来る子もいたそうです。2年後、有和中学校で一緒に学ぶのが楽しみです。

(主催:有田市青少年育成市民会議)



夏の「地域ふれあいルーム」より ~公民館活動~

小学生の放課後及び休日の安全・安心な居場所として、「地域ふれあいルーム」を開設しています。各館とも月に数回、地域の人を先生として、工作、科学、調理、スポーツ、季節のイベントなど、いろいろな体験活動を実施しています。学校区に関係なく参加申込できます。詳しくは、「有田市地域ふれあいルーム」と検索していただくか、右の二次元コードからご覧ください。



流しそうめん



地域の人が竹を切り出して作ってくれた流しそうめん台。竹のつゆ入れで美味しいそうめんを堪能していました。



ペットボトルロケットを作って飛ばそう



子どもたちの作ったカッコいいロケットが勢いよく発射! 「おもしろ科学」を楽しみました。



夏のカラフルサンドアート

ビーズなどで飾ったグラスにカラフルな砂を入れ、そこに花をさしたり小さな動物を置いたりして、自分だけのステキな作品が完成!



うたせ船の写生会



地域の特色を生かして毎年行っています。子どもたちが一生懸命写生していると、近くで働いていた方が扇風機を向けてくれたとか。心温まるエピソードです。